

イベント 東条湖おもちゃ王国のイベントに参加

～救急車を出展し赤十字をPR～

10月19日(土)、20日(日)の2日間、加東市の「東条湖おもちゃ王国」のイベント「はたらくくるま大集合!」に参加し、救急車の展示とともに、キッズ救護服、ナース服を着ての記念撮影、資料配布などを通じて、赤十字活動をPRしました。

今回は初めての参加でしたが、救急車は子どもたちに大人気!車両の前には順番待ちの行列ができるほどでした。

「子どもが大好きな乗り物なんです」「さっきも乗らせてもらって、もう一回乗りにきました」などの声も多く聞かれました。2日目には雨が降ることもありましたが、たくさん子どもたちとその保護者の方々に赤十字活動を紹介することができ、有意義なイベント参加となりました。



救急車の前ではちびっこが記念撮影。はい、ポーズ!

国際活動 赤十字×NHK 海外たすけあいキャンペーンが始まります。

～「たすけあいを、忘れない。」2013.12.1(日)から12.25(水)まで～

今年も12月1日から25日までの25日間、日本赤十字社ではNHKと共催で「NHK海外たすけあいキャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中、当支部では、日赤有功会や赤十字奉仕団員の皆さまのご協力をいただくとともに、青少年赤十字メンバー・赤十字奉仕団員と街頭募金を行います。皆さまからお寄せいただいた募金は、世界各地で多発する紛争や自然災害等による犠牲者の緊急救援、保健衛生事業等の援助に役立てられます。

皆さまからのご支援、ご協力をお待ちしております。



たすけあいを、忘れない。

街頭募金のスケジュールは下記のとおりです。

- 12月 1日(日) JR姫路駅周辺
 - 12月 7日(土) JR垂水駅周辺
 - 12月 8日(日) 阪急宝塚駅前交通広場
 - 12月 14日(土) JR明石駅周辺
 - 12月 15日(日) JR芦屋駅周辺
 - 12月 21日(土) JR神戸駅周辺
 - 12月 22日(日) JR三宮駅周辺
- 時間はそれぞれ13時から16時までです。

募金は次の方法で受付いたします。

ご持参の場合:

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK神戸放送局など
但馬銀行、農協及び漁協など

ご送金の場合:(郵便局・ゆうちょ銀行)

□座記号番号 01110-0-1136
□座加入者名「日本赤十字社兵庫県支部」
※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください

青少年赤十字 青少年赤十字提供プログラム実施校(10月)

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救援活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすく、お伝えします。

いのちの大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育むために、赤十字の提供プログラムをご利用ください。

10月にご利用していただいた学校(順不同)

- | | |
|---|--|
| ● 国際理解・平和プログラム
高砂市立米田西小学校
神戸市立有馬中学校 | ● 福祉教育プログラム
高砂市立伊保小学校
神戸市立西山小学校 |
| ● 防災教育プログラム
高砂市立米田西小学校 | ● 健康安全プログラム(AEDを使った心肺蘇生法等)
武庫川女子大学附属中学校・高等学校
神戸市立有野北中学校
西宮市立瓦木幼稚園
兵庫県立西宮北高等学校
兵庫県立伊川谷高等学校
兵庫県立宝塚東高等学校
宝塚市立宝塚第一中学校 |



武庫川女子大学附属中学校・高等学校

ひょうごの赤十字

2013 11月
NOVEMBER



- 活動資金にご協力ください
- ポスターコンクール受賞作品が決定
- 兵庫県日赤有功会「東北各地を巡る旅」
- 三木市総合防災訓練に参加
- 姫路赤十字看護専門学校トレーニングセンター
- 東条湖おもちゃ王国のイベントに参加
- 赤十字×NHK 海外たすけあいキャンペーンが始まります。
- 青少年赤十字提供プログラム実施校(10月)

活動資金にご協力ください

～皆さまのご支援が、いのちと健康を守る活動を支えています～

地域の皆さまの安全・安心を図るため「街角の赤十字」として兵庫県内の警察署、交番等75ヶ所に設置している救急箱とあわせ、平成23年度からは7カ年計画で140台のAEDを警察署等に設置するなど、お寄せいただいた資金は皆さまの身近なところでいのちと健康を守る活動に活かされています。



郵便振込で

□座番号:01110-0-1136
□座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(窓口振込により手数料は免除されます)



銀行振込で

銀行名:三井住友銀行神戸営業部
□座番号:普通口座8527478
□座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(振興課あて専用振込用紙をご請求ください。)



お電話で

◇活動資金に関するお問合せ
078-241-8921
(兵庫県支部 振興課)

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ポスターコンクール受賞作品が決定

～テーマは「ぼくたち、わたしたちにできること、誰かの力になれること」～

夏休み中に県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校を対象に赤十字活動推進ポスターコンクールを開催。10月4日(金)の審査会では、県内30校144作品の中から最優秀賞に兵庫県立龍野北高等学校3年生の緒方亜衣さんの作品が選ばれました。審査員の先生方からは「いのちを守るという活動を優しく思いやりのある表情で描いており、印象深く目と心にひびいてきた」という高評価もいただきました。合計で37作品の受賞作品が決定。どの作品も工夫されたデザインや標語で赤十字活動を表現し、温かさが伝わってくるすばらしい作品ばかりでした。

※入賞作品は兵庫県支部のホームページで紹介する他、兵庫県内数力所で展示する予定です。展示会場は決まり次第、ホームページでお知らせします。

最優秀賞
3年 緒方亜衣さん
兵庫県立龍野北高等学校



優秀賞
3年 中川実紀さん
西宮市立大社中学校



3年 原島はなさん
西宮市立大社中学校



3年 井上未菜さん
兵庫県立龍野北高等学校



高2年 三好菜々子さん
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校



兵庫県日赤有功会「東北各地を巡る旅」

～被災地の復興に想いをはせて～

兵庫県日赤有功会では、毎年、会員をはじめ赤十字関係者の皆さまとの親睦と見聞を広めるために旅行を企画しており、今年は、10月9日(水)から11日(金)にかけて、「東北各地を巡る旅」を実施しました。

初日は宮城県の松島湾巡り。遊覧船にて、船内ガイドさんの説明を聞きながら、美しい島々からなる景観を楽しみました。「松島町はこれらの島々が緩衝材となり、津波の勢いを弱めたため他の地域に比べると被害が少なかった」との話が印象に残りました。その後訪れた瑞巖寺では、本堂が平成の大修理で特別公開されており、ご本尊や伊達政宗公位牌などを、間近に拝観しながら手を合わせることができました。

2日目は、岩手県のびんびけい厳美渓を訪れた後、平泉の世界文化遺産を巡り、毛越寺境内の散策。その後、中尊寺を拝観し、金色堂や様々な国宝、重要文化財など多数の仏教美術工芸品に皆さん目を凝らしておられました。

最終日は日赤岩手県支部を訪問し、東日本大震災における被災地の状況や赤十字の活動について説明を受け、参加された方からは「さらに認識を深めることができた」との感想もいただきました。また、兵庫県支部が医療救護活動を展開した沿岸部の各所を巡りました。未だ震災の爪痕が残る情景を目の当たりにして、自然の猛威をあらためて考えさせられましたが、同時に、観光産業が地域を支える大きな柱であり、震災前と同様にもっと多くの方々が各地を訪れることも大きな復興支援になるとの思いを募らせながら、無事に3日間の行程を終えました。



松島にて集合写真



岩手県支部にて説明を受けられる参加者の皆さん

兵庫県日赤有功会は、日本赤十字社に対し多大の尽力をされたことにより、有功章を受章された方々によって組織され、赤十字事業を側面から支えていただいています。
日本赤十字社兵庫県支部ではご支援いただける新規会員を募集しています。
詳しくは振興課(078-241-8921)まで。

三木市総合防災訓練に参加

9月29日(日)三木山総合公園で三木市総合防災訓練が実施されました。兵庫県支部では、応急手当の訓練に参加するとともに展示ブースで災害救護活動のPRを行いました。市民参加型の応急手当実施訓練は初めての試みということもあり、三角巾を使っての災害時に役立つ傷への包帯の方法、毛布を使っての担架搬送などを、一般住民やボランティアの方々に体験していただきました。また、展示ブースでは、災害時に被災者に配られる救援物資を見て質問される方もおられ、普段見ることが少ない展示物を興味深く見物されていました。



毛布を使って担架搬送



展示ブースで活動PR

姫路赤十字看護専門学校トレーニングセンター

～災害救護活動での技術や行動力を養うために～

平成25年10月8日(火)、宍粟市生涯学習センター学遊館アイビードームで姫路赤十字看護専門学校のトレーニングセンターを開催しました。このトレーニングセンターは、赤十字看護専門学校の教育課程の一環として、災害救護活動への理解を深め、災害時の基本的な救護技術、心構えと態度、行動力を養うことを目的に、毎年、1年生と2年生が参加し、支部職員や病院職員の指導協力のもとで実施しています。

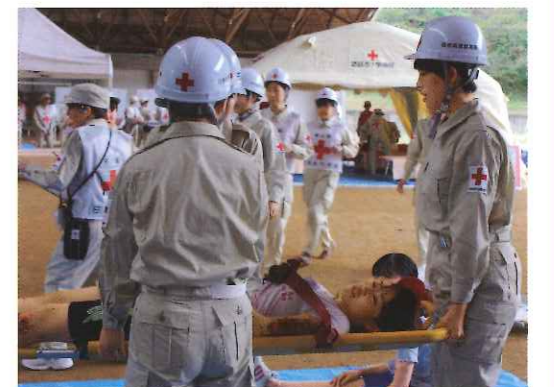
午前中は、災害現場などの混乱した状況の中でも迅速かつ的確に行動するための基礎行動訓練や、エアートントやワンタッチテントを使った救護所設営訓練、業務無線による通信訓練、バッグボードやスクープストレッチャーなど担架による傷病者搬送訓練を行いました。

午後からは、西播磨地域を震源とする直下型地震により多数の負傷者が発生したことを想定した災害救護訓練を行いました。2年生は赤十字救護班の救護員として医師・看護師・主事などの役割を担いました。1年生は傷病者の設定でトラウマメイクを施して、救助を求める被災者役を熱演しました。救護班役の2年生は事前に学内でシミュレーションを繰り返してこの訓練に臨みました。その成果もあり、現場の混乱に戸惑いながらもお互いに声を掛け合い、迅速かつ臨機応変に傷病者のトリアージ、応急手当、搬送、指揮者との連絡調整などの救護活動を展開することができました。

今回のトレーニングセンターを通して、学生たちは被災者への理解と災害現場における救護活動への意識を高め、メンバー間の絆を深める機会となったようです。



エアートント内で傷病者を診る学生



スクープストレッチャーを使った搬送